

哲学 対話

(2年目)

主催
長野上水内教育会

「哲学対話」とは

日常で感じる疑問や問いについて、自分が考えたことや感じたことを、グループの人たちと

自由に話し合います。

答えを出すことが、目的ではありません。

問うことや考えることの自由を感じながら、多様な人々との対話を通して、自己の気づきを深めることをねらいとしています。

子どもたちの思考力を育てる手法としても注目され、幅広く学校現場に取り入れるところも増えてきています。

講師：梶谷 真司 先生

(東京大学大学院総合文化研究科教授)

サポート：馬場 智一 先生

(長野県立大学グローバルマネジメント学部教授)

昨年度参加された方の感想

- ・とてもわかりやすく楽しめる内容でした。テーマを決め出し、1つのテーマについて思ったこと、考えたこと、感じたことを言葉にしていくことはとても楽しく感じました。参加して意見を言う、言わないにかかわらず、失敗がないことも安心して参加できるように感じました。
- ・〇〇とは何か、なぜ〇〇なのか、という問いが自分では立てられませんでした。みなさんとの対話する中でたくさんの問いが生まれてきたり、ただとりとめのない話をしているだけなのに、自分の中で腑に落ちることがあったりして、不思議な体験をしました。
- ・まずは楽しかったです。自分に問い、相手に問うことでいろいろな思いが巡る感覚があり、心地良かったです。
- ・もっと色々な人と会話してみたいという思いにかられた。哲学を身近に感じる事ができてとてもよかった。
- ・ハイブリッド開催で開催していただき、遠方からも参加できてありがたかったです。

2024 年(令和 6 年)

2 月 17 日(土)

13:00~

信州大学教育学部 or オンライン

申込み 



×切: R6年1月22日

※ 電話でも受付可(裏面に記載)

☑ 講師紹介

梶谷 真司 先生



東京大学大学院総合文化研究科に所属。

出身は、京都大学大学院人間・環境学研究科。専門は哲学（とくに現象学）、医療史（特に育児と養生）、比較文化（とくに宗教や生活文化）。近年は哲学対話を通して、学校教育、地域コミュニティなどで、「共に考える場」をつくる活動を行っている。

☑ 講座の概要

- 1 日時 2024(令和6)年2月17日(土) 13:00~16:00
- 2 会場 信州大学教育学部 N棟 101号室への参集 およびオンラインのハイブリッド方式
- 3 講師 梶谷 真司 先生(東京大学大学院総合文化研究科教授)

4 講座案内

(1) 開講式

(2) **講**義 「学びと哲学対話」(60分)

(3) 演 **習** 「哲学対話を体験しましょう」(80分)

ファシリテーター 馬場智一先生 神戸和佳子先生(長野県立大学)

松島恒熙先生 三和秀平先生(信州大学) ほか

(4) 閉講式

5 本講座の**特色**

(1) **多様性**…所属、経歴、性別、年齢など様々な方に参加していただきます。

一般(児童・生徒・大学生・保護者など)参加者も交え、教育以外の話題もテーマにして、対話を行います。なお、グループは、運営側で決めさせていただきます。

(2) **自由**…問うこと、語ること、聞くことなど自由です。…「哲学対話のルール」

前半の講義から触発された問いや、日常の疑問などから、グループごとにテーマを決めだし、「教育」も含めた幅広いテーマで「哲学対話」を行います。

(3) **ハイブリッド**方式…信州大学教育学部への参集とオンライン(Zoom)で実施します。

参集オンラインそれぞれ約8人でグルーピングし、各グループには哲学対話の経験者がファシリテーターとして参加します。

6 交通案内

公共交通機関利用の方:信大教育学部前バス停(ぐるりん号・アルピコバス)

自家用車利用の方:信大教育学部駐車場

7 その他 カジュアルな服装でご参加下さい。

☑ 問い合わせ 長野上水内教育会館

〒380-0936 長野県長野市大字中御所岡田町 15-5

TEL 026-226-2458 FAX 026-226-1854

jimukyoku-nkkyoikukai@kminochi-edu.or.jp